

阪奈和4国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和4年9月9日（金） 15:00～17:00 大阪教育大学天王寺キャンパス西館 講義室C	
委 員	委員 岡本 匡央（ネクサス監査法人 公認会計士） 委員長 中西 幸博（大阪大学施設部長） 委員 山田 陽彦（樹陽法律事務所 弁護士） (50 音順)	
審議対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
抽出案件（合計）	7件	（備考） 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ての審議依頼はなし。
工事（小計）	5件	
一般競争 （政府調達協定対象工事）	0件	
一般競争 （政府調達協定対象工事を除く）	5件	
公募型指名及び 工事希望型競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務	2件	
議題および質疑	議 題	別紙のとおり
	質 疑	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	な し	

質問・意見	回答等
1) 昨年度審議事項の改善結果等について (事務局より資料 1 に基づき説明) 令和 3 年 9 月開催の本委員会において委員から指摘された事項はなしとの報告 ・特になし	
2) 阪奈和 4 国立大学法人における契約方法等について (建設工事) (事務局より資料 2-1 に基づき説明) - 和歌山大学を例に、各大学における予定価格の金額に応じた建設工事の契約・落札方法、等級の設定、地域性考慮の有無について説明 ・特になし (事務局より資料 2-2 に基づき説明) - 令和 3 年度に締結された 5 大学における建設工事の入札方式別工事件数、予定価格合計、契約金額合計及び平均落札率について説明 ・特になし (事務局より資料 2-3 に基づき説明) - 令和 3 年度に締結された 5 大学における建設工事の予定価格 250 万円超えの一覧により、理由書欄及び委員会審議事項抽出案件について説明 ・特になし (事務局より資料 2-4 に基づき説明) - 理由書に関する点検事項番号内容等の説明 ・特になし	

3) 阪奈和 4 国立大学法人における契約方法等について（設計・コンサルティング） （事務局より資料 3-1 に基づき説明） ・和歌山大学を例に、各大学における予定価格の金額に応じた設計・コンサルティング業務の契約方法、地域性考慮の有無、手続き開始の公示方法について説明 ・特になし （事務局より資料 3-2 に基づき説明） ・令和 3 年度に締結された 5 大学における設計・コンサルティング業務の入札・契約方式別件数、予定価格合計、契約金額合計及び平均落札率について説明 ・特になし （事務局より資料 3-3 に基づき説明） ・令和 3 年度に締結された 5 大学における設計・コンサルティング業務の予定価格 100 万円超えの一覧により、理由書欄及び委員会審議事項抽出案件について説明 ・特になし （事務局より資料 3-4 に基づき説明） ・理由書に関する点検事項番号内容等の説明 ・特になし	
4) 審議対象工事及び業務の抽出結果について （委員長より抽出結果について説明）	
5) 対象工事及び業務の抽出案件の審議 <u>一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型）</u> 【大阪教育大学（柏原）教育協働学科棟他照明設備改修工事】 （大阪教育大学より資料 4-1 に基づき、工事概要、落札率が 50%以下及び入札参加者に対して低入札業者の割合が 80%以上となった理由を説明） ・どうしてこのような低廉な金額で工事ができたのか。	・資材価格について、業者の金額が大学の金額の半値程度となっており、大量に資材を購入した結果と

・落札業者はどの程度の規模の業者か。 ・工事の内容は。 ・当該業者は、施工日数を残して工事を完成させたようですが、品質に問題はなかったですか。 <u>随意契約（少額・不落随契以外の随契）</u> 【大阪教育大学（天王寺）合築施設（仮称）新営実施設設計業務】 （大阪教育大学より資料 4-6 に基づき、業務概要及び随契の理由を説明） ・見積提出は何回までとの決まりはないですか。 ・業者側に最初に何回までと通告しておけば、業者側もその気持ちで金額提示するのではないのでしょうか。 ・第1回目から第3回目までの金額提示が1千万円毎の減額だが、第5回目の金額提示は50万円減となっています。なぜ、このような金額提示をしたのか業者に伺いましたか。 ・設計そのものに、大学の手を煩わしたとか、不具合はなかったですか。 ・受注業者が受注しなかった場合、他の業者と契約することは可能ですか。 ・予定価格と最終金額提示までの経緯が不自然に見えますので、見積回数を最初から決めておくなど、疑念を抱かれないような検討をお願いします。 <u>一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型）</u> 【奈良教育大学（高畑）（附小・附幼）】プール防水改修工事】 （奈良国立大学機構より資料 4-2 に基づき、工事概要、落札率が50%以下及び入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上となった理由を説明） ・落札率が42.7%と低いが、防水材質や下請業者へのしわ寄せは無いのか。 ・施工体制を確認いただき、不当な下請け契約にならないよう監視願います。 ・多くの業者が低い見積価格となっており、客観的	考えられ、労務費については、自社施工のため安く抑えられると考えられます。また、過去の実績から施工期間を短く抑えて労務費、経費を安くしたと考えられます。 ・競争参加資格等級がBランクの業者です。 ・蛍光管の照明器具をLEDに交換するもので、更新台数は、約300台です。 ・問題はありませんでした。また、照明器具については、納品伝票及び現物で確認しました。 ・通常は2回となっています。 ・おっしゃるとおりだと思います。業者側も実施するつもりでできているので、その方法も確かにありかなと思います。 ・業者に聞いていませんが、見積金額が予定価格に徐々に近づいてきたと判断されたと思います。 ・ありませんでした。 ・本学としては、工事が遅れるリスクがありますが、他の業者との契約は可能です。 ・検討します。 ・工事監理の中で施工体制確認をしており、特に問題はありません。 ・はい。 ・予定価格は、公共工事の積算基準に基づき物価資
--	--

に考えて予定価格の計算指標が世相をうまく反映できていないと感じられますが、その辺の事情についてはどう分析されていますか。

- ・低価格調査の聞き取りは、落札業者のみですか。
- ・形式的なことですが、別紙③の原義書について決裁日が入っていないのですが、問題はありますか。

一般競争入札（最低価格落札方式）

【奈良女子大学（東紀寺）特別教室棟他屋上防水改修工事】

（奈良国立大学機構より資料 4-3 に基づき、工事概要及び入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上となった理由を説明）

- ・低入札価格調査について、先程の奈良教育大学の資料には「低入札価格調査の実施概要」という書類がありましたが、本件事案の資料4-3にないのはなぜですか。
- ・奈良教育大学の資料は、大学の分析を記載しているが、奈良女子大学の資料は業者が作成しているのですか。業者が作成しているのであれば、大学の分析にならないのではないですか。
- ・今後、低入札調査について、奈良女子大学も奈良教育大学の「低入札価格調査の実施概要」のような整理をして記録を残してください。
- ・今後は、低価格入札となった理由について、業者からの資料を大学で分析し大学としての結論を整理してください。

一般競争入札（最低価格落札方式）

【奈良女子大学（北魚屋）本部管理棟改修設計業務】

（奈良国立大学機構より資料 4-7 に基づき、設計業務の概要及び落札・契約率が 51.39%となったことを説明）

- ・落札率が51.39%と低いが、理由がわかればお願いします。
- ・業者に低価格となった理由を聴き取り調査しましたか。
- ・通常の設計業務との違いを説明願います。

料、メーカーからの見積書等を用いて積算しています。低価格は各社の企業努力と考えています。

- ・落札業者のみです。
- ・記載漏れのため、決裁日を確認し、記載します。

・低価格調査は実施しており、調査資料の添付を失念しました。手持資料としてもっていますので、提示します。

・原義書（手持ち提示資料）に、大学の調査分析の要約を記載しています。

・はい。

・はい。

・一般競争入札方式のため、特段の理由は浮かばないです。

・業者への聴き取りは行っていません。

・業務としては、大学の仕様どおりに工事発注用の図面を作成し、積算するという内容で、特に難しい業務でなく、設計事務所も業務はやりやすかったのではと思います。

・通常、設計業務はプロポーザル方式にて設計事務所から提案を受け、大学が検討して採用する業者選定を行っているが、今回は大学にて改修内容をあらかじめ決定し、その仕様どおりの設計を依頼しました。

一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型）

【和歌山大学（栄谷）西3号館改修電気設備工事】

（和歌山大学より資料4-4に基づき、工事概要、応札者が1者のみ及び低入札業者の割合が80%以上となった理由を説明）

・競争参加資格等級をAとBにしていますが、和歌山にはあまりA等級はないのですか。
・過去の入札実績も勘案し、参加資格を決定していますか。
・工事場所と業者所在地について、地理的に近いと経費的にどのような影響があると考えますか。

・施工実績について、今回の入札案件の面積の7割となっているが、学内ルールのようなものがありますか。
・入札毎に、施工実績割合を変更するのですか。
・公平性を保つために、原則は施工面積割合のルールどおりの割合にて参加資格を決定し、過去の実績等により入札参加者が見込めないときなどに、割合の変更を検討してはいかがでしょうか。

一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型）

【奈良先端科学技術大学院大学学生宿舍1棟等浴室ガス給湯器棟等改修工事】

（奈良先端科学技術大学院大学より資料4-5に基づき、工事概要、応札者が1者のみ1回目の入札で落札率が99%以上となった理由を説明）

・金額的に参加資格等級はCですが、Aまで広げた理由はなんですか。
・C等級だけだと問題があったのでしょうか。

・等級が上位の業者が入ってくると、下級業者が落札できないような状況にならないか。地元の業者が全然入れないような状況になっていませんか。中小企業をカバーするというのは、公共工事としての意味合いもあるので、過去の実績等を勘案し、等級を定めるように検討いただきたい。
・技術者不足の理由は、なんですか。

・契約までの日付が非常にスムーズに見えるが、早期着工のためにあとで契約を結んだのか。
・辞退理由に担当者がいなくて得意でないとかとあるが、そんなに専門性があるのか？
・得意というのは、材料納入業者との付き合いが関係するののか？

・A等級は少ないです。辞退した2社もB等級です。

・過去の実績も勘案しています。

・労務者が朝会社に出勤し、そこから工事場所に向かう場合の交通費や地元の業者から労務者を受け入れる場合では、やはり経費負担に差が出ると考えられます。

・文部科学省契約要項では施工面積の8割となっていますが、過去の実績等を踏まえ、担当者等の判断で7割を条件としました。

・過去の実績等を勘案し決定しています。

・はい。

・入札参加者を増やすために広げました。

・常に門戸を広げるため、2等級上位まで参加資格に入れています。

・はい。

・入札時期が遅れたため、他の工事に主任技術者を配置したとのことです。

・小さい大学のため、決裁に時間がかからないためです。

・管工事業者といっても空調が得意とか業者ごとにあります。

・自社の職人や材料納入業者との付き合いが関係します。

・換気や空調工事も入っているが、金額的なウエイトが高いのは？ ・辞退理由が給湯器の入手不可もあるのか？ ・辞退理由を実際に応札した業者と資料を取りに来ただけの業者に分けて考察し記録したらどうか。	・給湯工事が直接工事費の半分を占めています。 ・応札者以外にも確認しているので、そのように回答した業者もいます。 ・はい
6) 指名停止等の状況、再苦情処理の申立状況 (事務局より資料 5 に基づき説明) ・令和 3 年度における指名停止案件については、1 件もなかったことを報告。 ・特になし。 ・令和 3 年度における再苦情申し立てについては、1 件もなかったことを報告。 ・特になし。	
【その他】 ・特になし	